

ティーネのいいね！ドイツ

沼田市国際交流員が教えるドイツ

新年にドイツのあちらこちらで見かけるようになるのが、ラッキーアイテムです。

ケーキ屋さんやパン屋さん、ショーウィンドーでも色んな所で登場し、新年に、ラッキーアイテムグッズを友人や家族と交換する習慣があります。

ドイツ特有のラッキーアイテムは四葉のクローバー、コイン、てんとう虫、煙突掃除人と馬の足につける蹄鉄です。



ドイツのラッキーアイテム

最も人気なのは幸運の豚(Glücksschwein)です。ドイツでは、豚は新しい年の幸福を運んでくると言われています。ケーキ屋さんやパン屋さんには、豚の形のマジパンやチョコレートがあり、ショーウィンドーには、これまたラッキーアイテムとされているてんとう虫やクローバーのデコレーションも多いです。

また、ドイツでは「煙突掃除屋さん」も幸運をもたらすといわれ、四つ葉のクローバーに煙突掃除屋さんが乗った鉢植えをよく見かけます。昔、寒い冬に煙突が詰まってしまうと暖炉が使えず、凍えてしまうし料理もできない、それを煙突掃除人が直してくれると再び家族に幸せが訪れる。というところから、幸せのシンボルになったみたいです。

他のラッキーアイテムは日本でも知られている四葉のクローバーや馬の足につける蹄鉄です。それにてんとう虫はドイツならただの虫ではなく、聖母マリアの仲間、子供を守ったあり、病気を防いだりする虫として皆から愛されています。



逆に不幸のシンボルもあります。左から道を渡っている黒猫はその一つで、縁起が悪いということわざがあります。ドイツではやんちゃな性格の黒猫は特に悪いイメージがあります。猫はもともとGott(神)を信じていない古代エジプトと古代ギリシャからヨーロッパに来たため、邪悪な宗教のシンボルになりました。後、悪魔が黒猫に住んでいるという迷信もあります。左から道を渡っている黒猫を見かけたら、不幸にならないため、予防として指をクロスしている人もいます。



Viel Glück
(グッドラック)

作者：クリスティーネ・バウアー（ティーネ）
問い合わせ：c.bauer@city.numata.gunma.jp